

# 高山子育て応援団

～「あそび」を通じた乳幼児と地域住民のふるまい向上～

大田市立高山公民館

## 1 高山公民館の概要

高山地域は、少子高齢化が進んでおり高齢化率は45.1%(H27.1現在)、小学校2校と中学校1校、幼稚園2園と保育園1園は全て小規模である。将来的にも少子高齢化傾向は続くことが予想され、当公民館では、公民館が開設された初年度(平成21年度)から、少ない子どもたちを地域の力を借り、地域全体で一緒に子育てをしようとして取り組んでいる。

## 2 事業の概要

### (1) 事業のねらい

就学前の乳幼児を対象に「あそび」という体験を通し、心と体の成長を促し、自尊感情の育成や仲間への思いやりを育む。「高山子育て応援団」である地域住民の協力を得て、乳幼児の「生きる力」の土台づくりを行う。

### (2) 具体的な取組

対象集団をより大きくしていくことを目指し、1年間かけて丁寧に取り組む。

「あーそーぼ！！」…小集団の中での仲間との関わり方の体験

- ・通年 ・幼稚園と保育園 ・園児
- ・外部講師や公民館職員の支援のもとに、乳幼児が小集団の中で手遊び・リズム遊び・絵本を活用した遊びなどを体験しながら、日々を共に生活している仲間と交流する。

「みんないっしょにあーそーぼ！！」

…大集団の中での仲間との関わり方の体験

- ・水上保育園 ・乳幼児 保護者 地域住民
- ・遠距離のため交流機会の少ない3園の乳幼児が1か所に集まり、公民館職員の遊びの企画のもとに実施する。



「あーそーぼ！！」水上保育園

「高山のみんな遊びにおいでよ！！」…すべての世代の地域住民の交流活動

- ・水上保育園 ・乳幼児 小学生 中学生 保護者 地域住民
- ・夏休み中の子どもたちが1か所に集まり、お母さんお父さんバンド「わくわくバンド」を迎え、地域の様々な年齢の人々と「あそび」を通して交流をする。参加の小中学生には、スタッフとして活動を支えてもらう。

## 3 事業の成果と課題

### (1) 成果

年長児は年少児の手本となるよう行動し、年少児は年長児を手本にして行動しようと努力している。毎年、年長児の「ふるまい」が受け継がれ、年齢に応じた成長をとげている。小中学生はスタッフとして参加し、年下の子どもへは「やさしさ」を、地域の大人からは見守られているという「感謝の気持ち」を実感している。「あそび」を通じた様々な年齢の交流活動が、地域あげての「ふるまい向上」の大きな推進力となっている。

### (2) 課題

地域の大人・小学生の参加者は、毎回同じ顔ぶれである。参加したい人がいても高山地域が広範囲のため交通手段に制約がある。移動手段について考える必要がある。

## 4 今後の取組等

乳幼児を核として、地域の方との様々な交流の組み合わせで楽しい「あそび」の体験を継続し、乳幼児の小学校入学時の仲間とのより良い関係づくりにつなげるとともに、地域住民の「高山子育て応援団」への参加者を増やしていきたい。